

# 返礼品にダイソン製品

ふるさと納税、北九州市が採用

## 市内企業が中核部品製造

北九州市が、ふるさと納税の新たな返礼品に昨秋加えた海外の家電大手ダイソンのブランド製品が注目され、年末までの2カ月間で約2600件、計6億1千万円超の寄付を集めた。国の制度で返礼品対象は地場産品などと定められているが、同社製品の中核部品は市内の企業が製造しており、条件を満たした。同市によると、ダイソンの返礼品は全国初という。

北九州市は、地場の農水産物や工業製品など約2千種類を返礼品としている。市内の企業や生産者の後押しにもつながることから、取扱数を年々増やしてきた。市の担当者が「ものづくりの街」をアピールする

たどり着いたという。同社の主力製品が、家電や電気自動車（EV）の駆動部品「モーターコア」だ。金型で打ち抜いた厚さ0.1ミリの薄い金属を何枚も重ねて成形する。ずれや隙間なく精密に積み上げる



北九州市がふるさと納税の返礼品に加えたダイソンの掃除機を紹介する吉川工業ファインテックの西坂勝人社長

## 2カ月で寄付額6.1億円

同社の技術がダイソンから高評価を受けた。約15年前からコードレス掃除機などに用いるモーターコアの製造を担っている。

市は昨年10月下旬、ダイソン製の掃除機2種とヘアドライヤー2種を返礼品に採用。寄付額は18万8千円からだが、発表直後から大きな反響があったという。

吉川工業ファインテックの西坂勝人社長は「市への貢献とともに、従業員の励みにもなる。すごくうれしい」と話している。

（吉田修平）



ダイソンのコードレス掃除機向けに吉川工業ファインテックが製造したモーターコア（同社提供）